

令和元年度 第1回秩父市総合教育会議 次第

令和元年5月31日（金）11時5分

本庁舎3階 庁議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 放課後児童対策について

4 その他

5 閉 会

秩父市の放課後児童対策について

資料 1

1 現状

平成 31 年度(令和元年度)

ふれあい学校

秩父市立小学校 13 校
児童数 定員 420 名
利用者 417 名(入校待ち児童 57 名)
保育料 2,000 円/1 か月
指導員(学校補助員) 45 名
利用時間 平日 放課後～午後 4 時 30 分
休業日 午前 9 時～午後 4 時 30 分

R.元.5.1 現在

学童保育室

公立学童保育室 14 施設
児童数 定員 570 名
利用者 581 名(待機児童 26 名)
保育料 4,200 円/1 か月
学童保育指導員 82 名
利用時間 平日 放課後～午後 6 時 45 分
休業日 午前 7 時 45 分～午後 6 時 45 分

2 放課後児童対策に関する施策(国)

○平成 27 年～31 年度 「放課後子ども総合プラン」

○令和元年～令和 5 年度 「新・放課後子ども総合プラン」

◎共働き家庭の小 1 の壁を打破し、全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・行動を行うことができるよう一体型を中心とした放課後児童クラブ(学童保育室)とふれあい学校の計画的な整備を進める。

※平成 29 年 6 月 総合教育会議にて議題として提案

放課後児童対策について

①市内 8 か所でプログラムを一体化してできるよう、学校と連携して取り組む。(高篠小・南小・尾田蒔小・大田小・吉田小・荒川東小・花の木小・西小)

※平成 30 年度

プログラムの一体化として、交通安全教室や防災教室を各学童とふれあいでも試みたが、単発のイベント形式で終わってしまった。

思うように進まぬ理由 ⇒ 余裕教室の不足、学校補助員と学童指導員の勤務体系の相違、学童とふれあいの活動場所が離れている。学童指導員とふれあい指導員の意識の違い。

3 今年度の取り組み

- ①今年度市内の小学校 5 校をモデル校として選定し、順次一体化に向け合同保育を試みる。(秩父第一小、南小、尾田蒔小、高篠小、大田小の 5 校)
久那小学校に休室していた学童を再開する。
- ②4 月下旬に 5 校の校長に説明。5 月 16 日に 5 校の教頭、ふれあいの指導員、学童の指導員を集め説明会を開催した。今後各学校ごとの共通プログラムを提案してもらい、6 月中旬から順次合同保育を開始する。